

令和5年度第4回青梅市協働事業市民推進委員会会議録概要

令和6年1月29日
議会棟第2委員会室
午前10時00分～

1 あいさつ

(市民安全部長)

本日は委員の皆様のご意見としてまとめていただいた資料1～2が主な協議事項となります。

報告事項も含め、委員の皆様のご活発な議論をいただけたらと存じます。

(委員長)

年明けに能登半島の地震があり、自主防災組織の地域の委員会に出席した際、日ごろ発言されない方からも「実際の時はどうするのか」といった趣旨の発言もあった。

また、防災訓練について、これまでは学校の体育館に集まってといった形式での訓練であったが、自宅から最寄りの自治会館等へ避難して人員確認をするといった、実際の災害時には消防団だけでは難しい点は自治会に委ねられるだろうといった動きが出てきている。

自治会が防災面での主体となっていくと感じている。

2 協議事項

令和5年度青梅市協働事業市民推進委員会意見について(資料1～2)

(事務局説明)

前回の委員会以降にいただいたご意見を踏まえ、委員長に資料1～2を作成いただきました。

その後、委員の皆様にご意見を募りましたが、特に新たにご意見はございませんでした。

よって、本日の委員会で当意見について確定とさせていただき、2月13日に開催する庁内会議にて当意見を報告させていただきたいと考えております。

(委員長)

ここまで委員の皆様のご意見をまとめて作成し、また、今年は例年と違い、俯瞰的に見て広い意見を出すこととなった。

市民の意見を政策に反映させること、女性役員のご意見の積極的な取入れや役員数のKPI設定、協働事業の評価に形骸化等の項目を追加しその結果による見直しといった意見を記載し、表現の変更として新しい風(新風)と表現したこと等である。

今回の委員会には間に合わなかったが、自治会の運営等に関するガイドラインといったものを委員会で提案し、作成したいと考えている。

このようなガイドラインは、市としても自治会連合会としても提案しにくいと思うので委員会から提案したい。自治会については旧態依然の運営ではとてもやっていけない状況にあるので追加したい。

また、当ガイドラインの骨子は今回の提案の内容になると考えている。

特にご意見なかったと言う事だが、委員の皆様から何かあれば伺いたい。

(委員)

とても大切な意見が盛り込まれていると思う。今後については委員会で評価するといった視点で見えていき、見守っていきたいと考える。

(委員)

自治会だけでは立ち行かなくなっているという話があるが、市民活動についても同様に一つの団体だけでは立ち行かなくなっている。

皆がまちについて考えて協働する、ということが大切。自治会の人たちもすごく頑張っている方たちがいる。それぞれ分野が違う人たちがそれぞれ頑張ってきたが、まちについてみんなが考える、という考えが市内にもだいが生まれてきていると感じている。

(委員長)

やらなくてはいけないことは多くあるが、やらなくていいことは無くしていかななくてはならない。

新しい形にどう変えていくか。つながりをどう築いていくか。参加している方や活動をしている方が楽しみを感じてもらえないと継続は難しい。

(委員)

昨日、3つのマルシェが協力して開催されたマルシェに行ってきた。

自治会の方たちが「急な話しであったのに、こんなに人が集まって、開催ができてすごいな」と話していたが、自治会の方たちが場所の調整に尽力してくれたからできた部分も大きい。みんながそれぞれ得意分野で力を発揮したからこそできたことである。

(委員長)

当委員会が発足した10年以上前と状況が変わってきている。どう取りまとめていけば良いのかという部分をより進めていけると良いと思っている。提案した後も委員会で見守っていききたい。

では、今回のこの意見については会議（青梅市市民協働事業推進会議）へ報告させていただく。なお、今回は都合により会議に出席はできない。

また、意見について文字数が多くなっているが、これは内容を十分に伝えたいといった強い気持ちの表れである。

3 報告事項

(1) 令和6年度青梅市市民提案協働事業について

(事務局説明)

前回の委員会で説明した外部委員による事業評価について、正式な評価結果を受け取った際には、委員の皆様にも評価結果を共有させていただきます。

今後の方向性については、否定的な意見ではなく、改善点や実施方針の指摘を口頭で受けています。

これを踏まえて、来年度の提案協働事業では、情報の公開を早めに行い、多くの団体が提案しやすい環境を整えたいと考えています。情報の公開時期については、2月を目途としています。公開時には、委員の皆様にも詳細をお知らせします。

(委員長)

提案される場所は青梅ボランティア・市民活動センター（以下「ボラセン」という。）の登録団体が多いと思うが、ボラセンのネットワークを活用することはできるのか。

(委員)

メーリングリストはないが、メールアドレスを登録している団体はあるので、そちらの団体に投げかけていく事は可能と考える。

(委員)

素材等の提供があれば東京ボランティア・市民活動センターのホームページで告知することも可能である。自治体の情報について案内していきたいと考えている。

(委員)

来年度の事業総額はどうなっているのか。

(事務局説明)

次年度予算のため確定額ではないが、現時点では今年度と変わりありません。

(2) ボランティア入門講座について

(事務局説明)

以下の内容につき事務局から説明した。

「ふみだそう！ボランティア活動の第一歩」

日時：令和6年3月4日（月）午前9時30分～11時30分

会場：市役所2階204～206会議室

講師：青梅ボランティア・市民活動センター 小林 理人 氏

講演：和楽倶楽部 相馬 健一 氏

※広報おうめ2月1日号に掲載

4 その他

(事務局説明)

次回の委員会は令和6年度の第1回の委員会となります。事務局としては5月に実施を考えております。後日日程調整させていただきます。

【以降各委員所属団体の情報交換】